

社会学演習 I

科目ナンバリング SEM-301

必修 2単位

大川 清丈

1. 授業の概要(ねらい)

私たちは「大学」の中で学生や教員という社会的役割を担っている。学生の中には日本の現在の大学の姿を見て、他の国あるいは他の時代の大学もだいたい同じではないか、と思っている学生もいるかもしれないが、実際は必ずしもそうではない。大学は中世ヨーロッパに誕生し、歴史的にも地域によってもさまざまな形を取っている。そこで前期は、大学について書かれた新書本をテキストとして、各自が分担して、レジюме(要約)を作成・報告し、ディスカッションを行う。本書は社会学者である著者が、メディア研究の視点も生かして大学について論じたものであり、大学について一緒に考えていく。

また、授業ではグループワークの練習も行う予定である。

2. 授業の到達目標

自分の頭で考える能力を身につけることを目標にする。

3. 成績評価の方法および基準

報告、議論への参加度合い(50%)、学期末レポート(50%)

4. 教科書・参考文献

教科書

吉見俊哉 『大学とは何か』2011 岩波新書

参考文献

参考文献は使用しない。

5. 準備学修の内容

授業内容に関連する文献等を事前学習すること。

6. その他履修上の注意事項

欠席しないこと。

授業への参加が前提である。

質問・コメントする等の参加が望ましい。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション
- 【第2回】 報告の分担決め
- 【第3回】 報告と討論(1)
- 【第4回】 報告と討論(2)
- 【第5回】 報告と討論(3)
- 【第6回】 報告と討論(4)
- 【第7回】 報告と討論(5)
- 【第8回】 報告と討論(6)
- 【第9回】 報告と討論(7)
- 【第10回】 報告と討論(8)
- 【第11回】 報告と討論(9)
- 【第12回】 報告と討論(10)
- 【第13回】 報告と討論(11)
- 【第14回】 報告と討論(12)
- 【第15回】 授業のまとめ